

# ユニオンファンド 月次レポート

第 117 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2018年8月6日作成

## MONTHLY TOPIC

### 「ローテク」でも相場に勝てる

「AI」や「ロボット」が資産運用の世界にも広がる時代となりましたが、ハイテクな雰囲気の影響でこうした手法など使わなくとも、簡単な方法で十分相場に勝つことができる、というお話を今回はしてみます。

#### 高値づかみのワナから逃れるには

先日の日経新聞（8月2日付け）には、「投信に『高値づかみ』のワナ 顧客の半数が損失」という記事が載りました。それによると、①この3月末時点で投信保有者の46%が損を抱えている、②過去10年間の基準価額の上昇率は年率4.4%だったが、顧客の得た利益は同2.2%にとどまった、ということです。基準価額が上がってくると「さらに上がりそうだ」と考えて買いが増え、「安値圏では不安心理から急いで売ってしまう」ことが、利益をとりそこなう理由だと、この記事は指摘しています。

ではどうすればいいかについてですが、①相場に一喜一憂せず、国内外の株式に分散投資する低コストの投信を長期保有する、②積み立て投資を活用し、安い時にたくさん買い、高い時には少なく買うようにする、という二つの方法を挙げています。低コストなら何でもいいわけではないことには注意が必要ですが、「相場に一喜一憂しない」長期投資と積み立て投資が有効であることについては、全く同感です。

#### リバランスの効果を活用

7月26日付けの英エコノミスト誌は、機械的に「リバランス」することを勧めています。リバランスとは、株式や債券などの資産の配分を一定の比率に保つ調整のことを言います。記事が示したデータは1926年1月から1940年12月までの15年間のもので、1ドルを投資した場合、この期間に株式は1.81ドル、債券は2.08ドルに増えました。ちなみに、債券の成績が勝ったのは、1929年以降の株価大暴落の影響が大きかったためです。

ここで、スタート時に株式60%、債券40%の割合で投資し、じっと15年待った場合はどうかというと、1.92ドルに増えた計算です。一方、60:40という比率に戻すリバランスを四半期（3ヵ月）ごとに実行し続けた場合は、2.46ドルに増えたといいます。値上がりしたものを売って割安な方に資金を移したことで、単に持続保有した場合を上回る成果を上げることができたのです。株式投信など資産をある程度お持ちの方はもちろんですが、確定拠出年金の中身がほったらかしという方にも参考になると思います。

相場の短期変動に振り回されて損してしまうワナから逃れ、より高い運用成果を得るために、定額積み立てやりバランスといったシンプルながらも簡単にできるローテク運用を実践してみたいかでしょうか？

代表取締役 運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

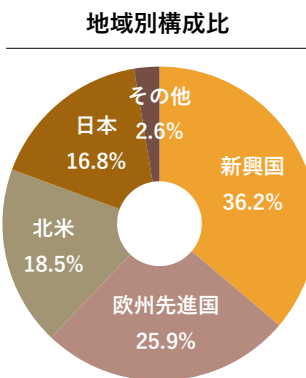
# ユニオンファンド運用状況

(2018年7月末現在)

<b>基準価額</b>	
24,940 円	
<b>純資産総額</b>	
63 億 59 百万円	
<b>期間別騰落率(%)</b>	
1 ヶ月	4.29%
6 ヶ月	-7.62%
1 年	2.46%
3 年	12.45%
5 年	48.10%
設定来	149.40%

<b>複利年率(%)</b>	
9.79%	

\*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2018年6月末現在)



**組入ファンドの内訳**

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	6.9%	1.6%
スパークス F	日本	7.0%	0.4%
キャピタル F	欧米	14.1%	4.4%
ハリス F	欧米	21.4%	5.1%
コムジェスト・ヨーロッパ F (SA/90)	欧州	6.4%	5.7%/5.7%
コムジェスト・エマージング F (SA/95)	新興国	36.1%	6.1%/5.9%
現金等	-	8.1%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算  
コムジェスト・ヨーロッパ F、同エマージング F：2 本のベビーファンドの各騰落率を表示

- ファンドの特長**
- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
  - ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
  - ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
  - ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
  - ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2018年7月の市場動向と運用状況

### 投資環境と基準価額の推移

7月の世界の株式市場は、米国と中国の間の貿易を巡る対立と、それが世界経済に与えるマイナスの影響を警戒し、軟調なスタートを切りました。上旬には米国が中国製品への追加関税を発動し、それに対して中国からも報復措置が示されました。その後も米国から関税引き上げ品目を増やすとの示唆があったものの、株価は立ち直りました。これは、中国の反発が予想されていたほど過激ではなかったことや、米国と欧州の間での話し合いに前進が見られたことなどから、大きな問題に発展する可能性が薄らいだとの安心感が広がったためと思われます。米国では企業業績がおおむね予想どおり好調に推移しており、これも株価にはプラスとなりました。ただ、月末にかけては情報技術企業の一部で成長性と利益率の見通しが落ち、これをきっかけにNASDAQ総合指数が反落するなど、堅調に推移してきた米国株にも若干ながら先行きへの警戒感が広がりました。

為替市場では、月の半ばまでは米国経済の好調を背景とした金利上昇予想を受けてドル高の動きが続きました。しかし、トランプ大統領が金利高をけん制する異例のコメントを発したのを機に、ドルはやや頭打ちとなりました。結果的に新興国の通貨は小反発し、これにつれて株価も回復の兆しを見せるなど、新興国市場は過去半年ほどの軟調さとはやや異なる動きも見せました。

月末には日銀が金融政策を発表しました。長期金利の変動幅を拡大し上限を引き上げるとした一方で、現行の低金利政策は当面維持することを約束するという、ややわかりにくい内容でした。市場関係者の解釈は、金利の正常化、つまり上昇を目指したものだという見方と、いや緩和の強化だという見方に分かれており、政策内容の発表直後には長期金利や為替などがやや大きく振れました。長期にわたる景気拡大にもかかわらず物価がなかなか上がらないため金融緩和の旗は降ろせない一方、人為的な低金利の継続による銀行収益の圧迫と市場機能の喪失への懸念にも配慮した、両にらみの苦肉の策にも見えます。この政策で日本経済が劇的に好転することはなさそうに思います。

ユニオンファンドの基準価額は3ヵ月ぶりに上昇しました。このところ足を引っ張っていたコムジェストEMFは市況の好転と組入銘柄の好調を背景に大きく値上がりし、基準価額の上昇に寄与しました。

### 運用の状況

コムジェストEMFについて、SAから95に入れ替える売買を予定どおり行いました。この間、売却よりも買い付けを若干多めにしております。月末時点の全体の組入比率は6月末とほぼ同じ91.9%でした。

### 今後の見通しと運用方針

市場参加者の最大の関心事は貿易摩擦のゆくえです。また、欧州をはじめ、あちこちで景気にスローダウンの兆しが見られる点も要注意です。ただ、米国を除き多くの国で見られた企業業績予想の引き下げはおおむね一巡し、PERなどから見た割高感も薄れてきました。貿易問題を巡って投資家心理は揺れそうですが、業績拡大を背景とした上昇基調が崩れるほどではないと見ています。このため、軟調な局面があれば引き続き買い増しを続ける方針です。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



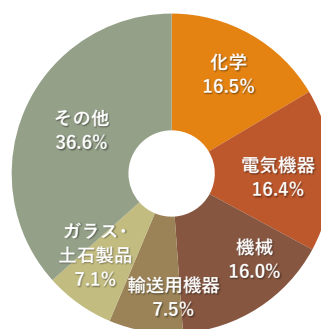
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	5.2%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 プリヂストーン	4.1%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
3 花王	3.8%	日本	化学	トイレット紙首位
4 ダイキン工業	3.4%	日本	機械	エアコン世界首位
5 浜松ホトニクス	3.3%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
6 TOTO	3.3%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器首位
7 信越化学工業	3.0%	日本	化学	塩ビ・シリコンエポキシ世界大手
8 テルモ	2.8%	日本	精密機器	医療機器（カテーテル）
9 国際石油開発帝石	2.7%	日本	鉱業	石油メジャー
10 トヨタ自動車	2.6%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
<b>上位10銘柄</b>	<b>34.2%</b>		<b>現金等</b>	<b>11.6%</b>

業種別構成比



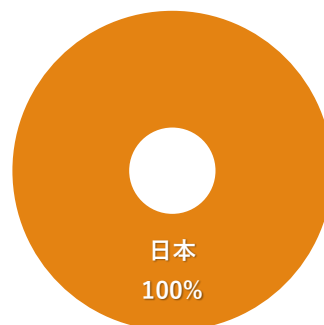
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年7月末現在>

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



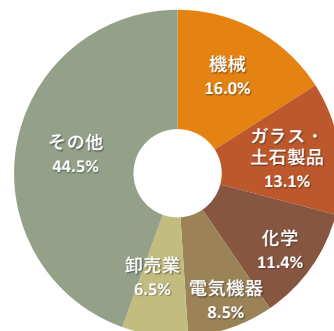
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
バリューコマース	—	日本	サービス業	ヤフー子会社。インターネット広告等
ビックカメラ	—	日本	小売業	大手家電量販店
シップヘルスケアHD	—	日本	卸売業	医療機器・設備
MARUWA	—	日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業	—	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
オルガノ	—	日本	機械	水処理装置大手
エフビコ	—	日本	化学	食品トレイなど容器の大手
デサント	—	日本	繊維製品	スポーツウェア・用品大手
トーセイ	—	日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄	—	日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
<b>現金等</b>			<b>現金等</b>	<b>4.7%</b>

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年6月末現在>

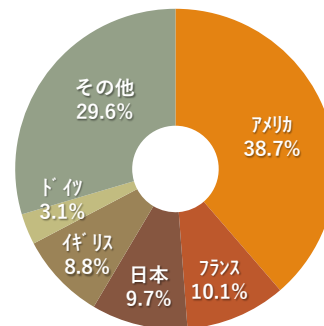
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



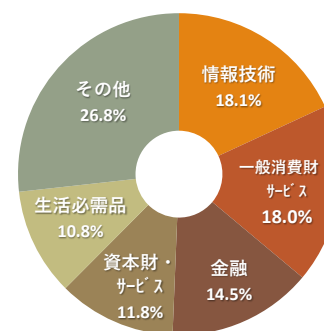
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Airbus	2.0%	フランス	資本財・サービス	世界有数の航空機メーカー
2 Pernod Ricard	1.8%	フランス	生活必需品	アルコール飲料、食品
3 Alphabet	1.7%	アメリカ	情報技術	グーグルの持ち株会社
4 ASML	1.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
5 Ocado	1.6%	イギリス	一般消費財・サービス	世界最大級のオンライン・スーパー
6 AIA	1.5%	香港	金融	生保・金融サービス
7 Enel	1.5%	イタリア	公益	国内最大の電力会社
8 GoDaddy	1.4%	アメリカ	情報技術	ドメイン登録、レンタルサーバ
9 Microsoft	1.3%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
10 Vale	1.3%	ブラジル	素材	鉄鉱石などの総合資源開発会社
上位10銘柄	15.7%	現金等	4.3%	

業種別構成比



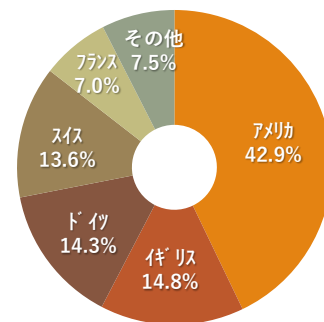
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年6月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



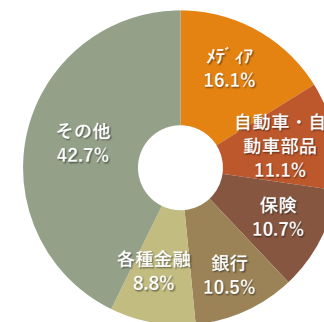
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNP PARIBAS	5.0%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 DAIMLER	4.7%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
3 ALLIANZ	4.1%	ドイツ	保険	総合保険大手
4 CNH INDUSTRIAL	4.0%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
5 CREDIT SUISSE	3.8%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
6 GLENCORE	3.6%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
7 GENERAL MOTORS	3.5%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ3の一角
8 ALPHABET	3.5%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	グーグルの持ち株会社
9 CHARTER COMMUNICATIONS	3.4%	アメリカ	メディア	ケーブルテレビ、携帯電話
10 AIG	3.2%	アメリカ	保険	総合保険大手
上位10銘柄	38.9%	現金等	4.4%	

業種別構成比(マザーファンド)



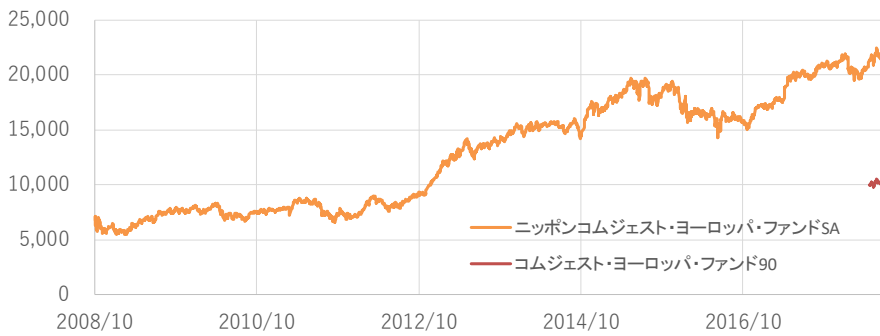
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年6月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

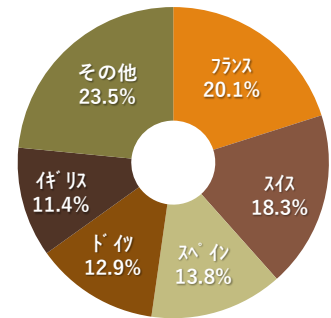


# コムジェスト・ヨーロッパF (ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA) (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



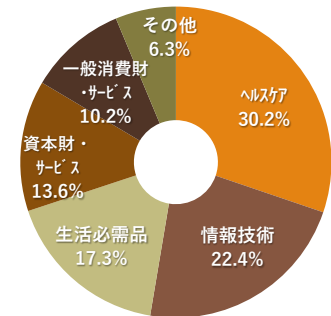
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 AMADEUS	6.8%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
2 INDITEX	6.1%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
3 COLOPLAST-B	5.4%	デンマーク	ヘルスケア	人工肛門世界大手
4 ESSILOR	5.1%	フランス	ヘルスケア	光学製品
5 SARTORIUS STEDIM	4.1%	フランス	ヘルスケア	ウイルス除去フィルター
6 WIRECARD	3.8%	ドイツ	情報技術	オンライン決済
7 SAP	3.4%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
8 LINDT & SPRUENGLI	3.2%	スイス	生活必需品	チョコレートなどの食品・飲料
9 ASSA ABLOY B	3.2%	スウェーデン	資本財・サービス	鍵等のセキュリティシステム世界大手
10 DASSAULT SYSTEMES	3.1%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフトウェア
上位10銘柄	44.0%		現金等	7.0%

業種別構成比(マザーファンド)



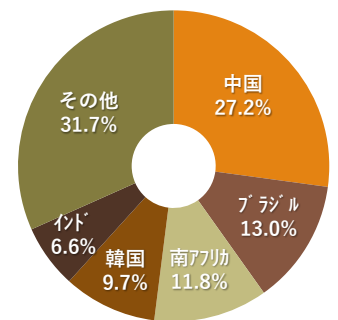
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年7月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA) (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



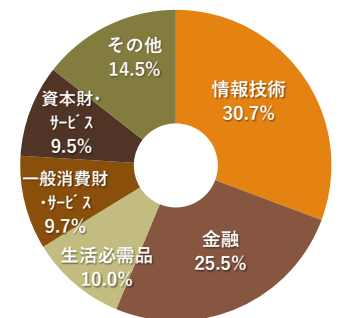
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	6.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 COGNIZANT TECHNOLOGY	5.1%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
3 PING AN INSURANCE	4.7%	中国	金融	保険大手
4 CHINA LIFE	4.3%	中国	金融	生保国内最大手
5 NETEASE ADR	3.9%	中国	情報技術	オンラインゲーム
6 MTN	3.8%	南アフリカ	電気通信サービス	携帯電話
7 SAIC MOTOR	3.4%	中国	一般消費財・サービス	国内大手自動車メーカー
8 BAIDU ADR	3.2%	中国	情報技術	検索エンジン世界2位
9 SANLAM	3.2%	南アフリカ	金融	アフリカの保険大手
10 FOMENTO ECONOMICO	3.2%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
上位10銘柄	40.8%		現金等	1.6%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年7月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

### 個人番号（マイナンバー）のご提供について

2016年より開始されております「マイナンバー制度」に伴い、同年より前に口座開設されたお客様へ、法令に基づき同年10月からお送りさせていただきました「個人番号（マイナンバー）ご提供のお願い」により、マイナンバーをご提供いただいております。

本年（2018年）末でご提供の猶予期間が終了いたします\*ので、該当されるお客様で、まだ弊社までご提供いただけていない方、ご提供の際の書類漏れなどで受付できずに返却させていただきました方におかれましては、ご提供のほど、何卒よろしくお願いたします。

\* 猶予期間終了後は、法令に基づく告知がなされていないこととなり、2019年1月1日以後最初にご解約されるときまたは分配金再投資があるときまでに、マイナンバーをご提供いただく必要がございます。

#### <「個人番号（マイナンバー）ご提供のお願い」によるご提供にあたってのご留意点>

##### ◎「個人番号届出書」を必ずご提出ください。

- ・ 個人番号届出書とは、弊社へのご登録内容（お客様コード・お名前・ご住所等）が印字された書面です。
- ・ 本届出書のご提出により、あらためてご登録内容を確認させていただきます。

##### ◎「個人番号届出書」に印字されたご住所等の表記 と 「登録事項変更届」のご提出について

- ・ 弊社システムの都合上、お客様のご住所の丁目、番地等の表記を「-（ハイフン）」に置き換えて登録させていただきます。（例：長野県松本市深志1丁目1番地21 → 長野県松本市深志1-1-21 と表記）
- ・ 通知カードや個人番号カードに記載されているご住所が丁目、番地と表記されておりましたが、個人番号届出書に印字されたご住所と内容に相違がなければ、「登録事項変更届」による変更手続きは必要ございません。
- ・ 「登録事項変更届」は、ご登録のお名前や転居等でご住所が変わっている場合にご提出ください。

### スポット購入のお申込み受付時間について

スポット購入とは、弊社の「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からの都度のお振込みによりファンドを購入いただくものです。弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。

購入金額は「1万円以上1円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。

販売手数料はかかりません。

#### <当日のスポット購入のお申込みは、15時までに弊社でご入金を確認できたものに限りま。>

スポット購入は、当日15時までに弊社でご入金の確認ができたものが当日受付分となります。

15時以降に確認できたものは、翌営業日受付分となります。

※ 15時直前などにお振込みされた場合に、当日分として確認できないことがありますのでご注意ください。

※ お振込みの際は、「振込依頼人」名を必ずお客様ご自身のお名前でお願いたします。

※ 「ファンド購入用振込先口座」につきましては、口座開設いただいた際に弊社より簡易書留郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」に記載しております。

（お客さま控えは再発行できますので、ご希望される場合は弊社までご連絡ください。）

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

### 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

### 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 金** 信託財産留保金はありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.864% (税抜き 年 0.8%) の率を乗じて得た額です。  
毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。  
[\*実質的な信託報酬：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3% (概算)]  
\* 『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めた率です。  
目安であり、組入状況により変動します。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額の費用を含みます)
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用(監査費用)(消費税等相当額を含みます)

※ 監査費用は委託会社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。